

令和 4 年度大阪市外国人住民アンケート調査報告書

令和 5 年 2 月

大阪市

目次

調査目的	1
調査実施概要	1
調査結果の要約	3
回答者の属性	5
調査結果詳細	16
1. 言語・日本語学習について	16
2. 普段の生活について	24
3. 仕事について	60
4. 住んでいる家について	66
5. 医療・保険・福祉について	70
6. 出産・子育て・教育について	78
7. 差別・差別的な言動について	82
8. 防災について	86
9. 多文化共生について	92
調査票	102

調査目的

大阪市の外国人住民数は、平成26年度以降急増し、国籍、ルーツ、在留資格等が多様化する中、外国人住民や地域社会が抱えるニーズが複雑・多様化しており、そうした変化に応じた本市の施策が必要となっている。

本市各所属において効果的な多文化共生施策を検討するうえでの基礎資料とするため、現時点の外国人住民の生活環境についての実態や抱えている課題を把握するアンケート調査を実施する。

調査実施概要

1. 調査方法

郵送による無記名式のアンケート調査（調査票を郵送し、後日記入済みの調査票を返送。）

調査票は日本語版（ルビつき）と、調査対象者の国籍を参照して選択した日本語以外の1言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、フィリピン語）版の2種類を送付し、回答可能な言語で回答いただいた。

2. 調査対象

大阪市内在住の18歳以上の外国人住民の中から無作為に抽出された4,000人

3. 調査実施期間

令和4年12月7日～令和4年12月21日

4. 回収数

発送数：4,000件

到達数：3,823件（不着を除く）

回収数：606件

回収率（発送数を母数とする）：15.2%

回収率（到達数を母数とする）：15.9%

5. 報告書の表記について

回答は、各質問の回答者数（ n ）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）

図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。

コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

- 在留資格、日本語能力及び国籍別のクロス集計は、下記の基準で分類しています。

■在留資格（Q5）

「居住資格」＝「永住者」・「定住者」・「日本人の配偶者等」・「永住者の配偶者」

「就労資格」＝「技術・人文知識・国際業務」・「経営・管理」・「技能」・「技能実習」

■日本語能力（Q10、Q10-1）

聞く	「日常会話以上」＝Q10-1「問題なく聞きとることができる（母語と同じくらい）」 ＋「日常会話は聞き取ることができる」 「日常会話未満」＝Q10-1「単語は聞き取ることができる」以下
話す	「日常会話以上」＝Q10-1「問題なく話すことができる（母語と同じくらい）」 ＋「日常会話は話すことができる」 「日常会話未満」＝Q10-1「単語は話すことができる」以下
読む・ わかる	「ひか漢（簡）が読める」＝Q10-1「問題なく読むことができる（母語と同じくらい）」 ＋「ひらがなカタカナと簡単な漢字を読むことができる」 「上記未満」＝Q10-1「ひらがなカタカナを読むことができる」以下
書く	「ひか漢（簡）が書ける」＝Q10-1「問題なく書くことができる（母語と同じくらい）」 ＋「ひらがなカタカナと簡単な漢字を書くことができる」 「上記未満」＝Q6「ひらがなカタカナを書くことができる」以下

■国籍別（Q3）

「その他」＝「米国」＋「タイ」＋「ブラジル」＋「その他」

- 前回調査（令和元年度実施）との比較は、選択肢が追加された設問については参考程度とする。

調査結果の要約

1. 普段の生活（情報・相談）について

- ・知っている情報媒体は、「区役所のホームページ」が33.3%と最も多く、次いで、「大阪市役所のホームページ」が33.0%、「全部知らない」が25.2%、「区役所の広報紙」が22.3%、「区役所のチラシやパンフレット」が21.9%と2割以上。
- ・使用する情報媒体は、「友人・知り合い(同じ国籍の人・同じルーツの人)」が41.7%と最も多く、次いで、「友人・知り合い(日本人)」が40.6%、「インターネット・SNS」が30.9%、「大阪市役所のホームページ」が30.7%、「区役所のホームページ」が30.5%となっている。年代別に見ると、20～59歳の各年代では「区役所のホームページ」「大阪市役所のホームページ」の割合が高い傾向にある一方、60歳以上の各年代では「区役所の広報紙」の割合が高い傾向となっている。
- ・生活で困っていること・知りたい情報は、「新型コロナウイルスの支援や給付金」が32.8%と最も多く、次いで、「給付金・生活保護」が27.7%、「税金」が24.1%、「国民健康保険や年金」が22.8%、「病気や事故のときにどうすればよいか」が20.8%となっている。
- ・相談相手は、「友人・知り合い(同じ国籍の人・同じルーツの人)」が51.3%と最も多く、次いで、「家族（子どもやパートナーなど）」が49.0%、「友人・知り合い(日本人)」が41.1%で上位。
- ・隣人との付き合いは、「会えばあいさつをする」が50.7%で最も多い。
- ・つながりがあるコミュニティは、「上記の場所に行ったり、活動はしていない」が41.9%と最も多く、次いで、「同じ国籍の人が多くあつまるレストランなどの飲食店」が25.7%、「同じ国籍の人の団体やコミュニティの活動」が20.1%と2割以上。
- ・地域団体・イベントへの参加は、「地域の活動に参加していない」が60.2%と最も多い。地域の活動に参加しない理由は、「活動していることを知らない」が40.8%、「参加する時間がない」が39.5%と上位。

2. 仕事について

- ・就業形態は、「正社員」が26.6%と最も多く、次いで、「アルバイトやパートタイマー」が20.8%と2割以上。職種は、「工場などの工員・作業員（技能工、食品加工など）」が14.1%と最も多く、次いで、「技術専門職（建築士、システムエンジニアなど）」が11.1%、「販売員（飲食、販売など）」が10.9%、「事務職（営業事務、一般事務、経理事務、秘書など）」が10.2%で上位。業種は、「製造業（機械や自動車、缶詰などの食料品の製造）」が16.9%と最も多く、次いで、「飲食サービス業・宿泊業（食品の販売、レストラン、ホテルなど）」が14.5%、「医療・福祉業（病院、介護事業など）」が13.6%で1割以上。
- ・仕事についての過去5年間の経験について、「日本語での会話・コミュニケーションがうまくいかなかった」で「ある」が39.4%と特に高い。

3. 住んでいる家について

- ・住居形態は、「賃貸住宅（借りた家）」が49.7%と最も多く、次いで、「持ち家（買った家）」が27.6%と2割以上。大阪市で過去5年間に住む家を探したことがあるかは、「ない」が50.8%、「ある」が41.9%。住む家を探した方法は、「外国語が話せる日本の不動産業者以外の日本の不動産業者で探した」が41.7%と最も多く、次いで、「外国語が話せる日本の不動産業者」が37.4%、「家族や知り合いや友達が探してくれた」が22.4%。
- 家を探す際の経験をみると、「ある」は「家賃が高くて、住みたい家に住むことができなかった」が56.7%で最も多く、次いで「日本人の保証人がいないので入居を断られた」が43.7%、「外国人なので入居を断られた」が42.5%となっている。

4.医療・保険・福祉について

- ・過去1年間で病気になったときの経験は、「医者話す言葉がわからなかった」が21.5%で最も多い。医療保険加入状況は、「仕事先の健康保険」が46.5%、「国民健康保険」が39.4%と多い。
- また、年金の加入有無は、「仕事先の年金」が44.1%と最も多い。
- ・これまで利用した制度について、「今、受けている」と「昔、受けていた」を合わせた割合が「生活保護」で15.9%、「児童扶養手当」で10.7%。

5.出産・子育て・教育について

- ・18歳以下の同居の子ども有無は、「いる」が22.1%、「いない」が69.6%。日本での出産・子育て・教育・学校のこと困る(困った)こと、心配する(心配した)ことについて、「塾や習い事に必要なお金が高い」が50.7%と最も高い。子どもにどこまで教育を受けさせたいかは、「大学まで」が50.7%と最も多い。

6.差別・差別的な言動について

- ・過去5年間の差別的な言動の経験について、過去5年間に経験したことが「よくある」と回答した割合は、「知らない人からジロジロ見られた」が5.0%、「職場や学校の人外国人に偏見を持っていて、人間関係がうまくいかなかった」が4.5%と高い。
- ・差別的な言動を見聞きした経験について、「よくある」と回答した割合は「インターネットで見た」が11.7%で最も高い。差別的な言動を見たり、聞いた時どのように感じたかは、「不快に感じた」が50.1%と最も多い。

7.防災について

- ・災害への備えは、7割程度が何かの備えをしている。
- ・災害情報を手に入れる方法は、「インターネット・SNS」が46.9%と最も多い。
- ・災害準備のために知りたいことは、「家に居ると危ないときに逃げる場所や逃げる方法」が47.7%、「避難所(逃げる場所)を利用する方法、利用できるサービス、過ごし方」が47.2%で4割以上。

8.多文化共生について

- ・多文化共生社会をつくるために重要だと思うことについて、「とても重要である」は、「外国人がなんでも相談できる窓口を作る」が53.6%で過半数以上。
- ・「多文化共生の地域づくり」のために地域の日本人住民に対して望むことについて、「おいおいに望む」は、「外国の文化、生活習慣を理解するように努める」が33.0%で最も多い。
- ・「多文化共生の地域づくり」を進めるにあたりしたいと思うことは、「おいおいにしたい」は、「日本の文化、生活習慣を理解するよう努める」が46.5%、「日頃から日本人住民と言葉を交わす」が40.6%で多い。

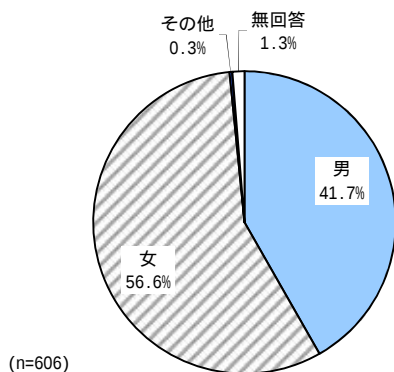
回答者の属性

性別

Q 1 あなたの性別を教えてください。(単一回答)

性別は、「男性」が 41.7%、「女性」が 56.6%となっている。

【全体】



【前回調査】

男性：40.7%、女性：57.3%

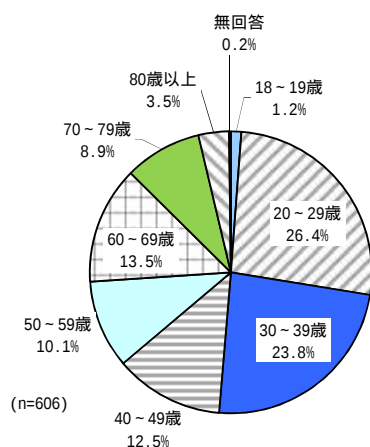
年齢

Q 2 あなたの年齢を教えてください。(単一回答)

年齢は、「20～29 歳」が 26.4%と最も多く、次いで、「30～39 歳」が 23.8%、「60～69 歳」が 13.5%、「40～49 歳」が 12.5%、「50～59 歳」が 10.1%となっている。

前回調査と比較して、大きな差はみられない。

【全体】



【前回比較】

		1 8 5	2 0 5	3 0 5	4 0 5	5 0 5	6 0 5	7 0 5	8 0 歳 以上	無 回 答	(%)
	全 体	1 9 歳	2 9 歳	3 9 歳	4 9 歳	5 9 歳	6 9 歳	7 9 歳			
今回 (R4)	606	1.2	26.4	23.8	12.5	10.1	13.5	8.9	3.5	0.2	
前回 (R1)	626	2.7	24.8	21.4	14.1	11.3	10.5	10.5	2.9	1.8	

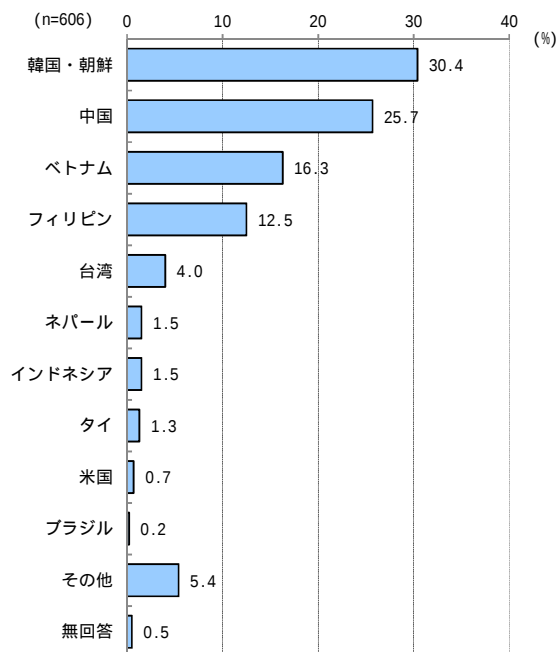
国籍

Q3 あなたの国籍（地域）はどれですか。（単一回答）

国籍（地域）は、「韓国・朝鮮」が30.4%と最も多く、次いで、「中国」が25.7%、「ベトナム」が16.3%、「フィリピン」が12.5%、「台湾」が4.0%となっている。

前回調査と比較して、「韓国・朝鮮」は7.0ポイント低く、「ベトナム」は8.6ポイント高い。

【全体】



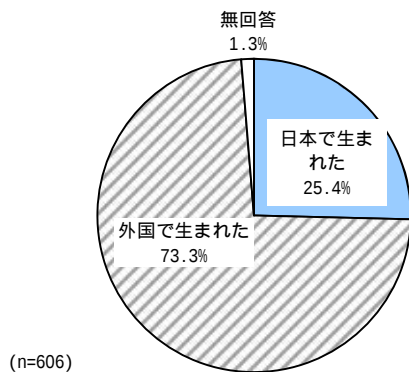
【前回比較】

	全 体	韓国・ 朝鮮	中国	ベト ナム	ネパ ール	台湾	フィ リピン	インド ネシア	米国	タイ	ブラ ジル	その他	無 回答
今回（R4）	606	30.4	25.7	16.3	1.5	4.0	12.5	1.5	0.7	1.3	0.2	5.4	0.5
前回（R1）	626	37.4	24.1	7.7	0.6	4.0	13.6	1.4	1.1	0.8	0.8	10.2	1.6

Q 4 あなたはどこで生まれましたか。(単一回答)

出生地は、「日本で生まれた」が25.4%、「外国で生まれた」が73.3%となっている。
 前回調査と比較して、「日本で生まれた」が4.0ポイント低い。

【全体】



【前回調査】

日本で生まれた：29.4%、外国で生まれた：68.2%

Q 4で「2 外国で生まれた」と答えた方にお聞きします。

Q 4—1 あなたは日本に合計何年住んでいますか。(単一回答)

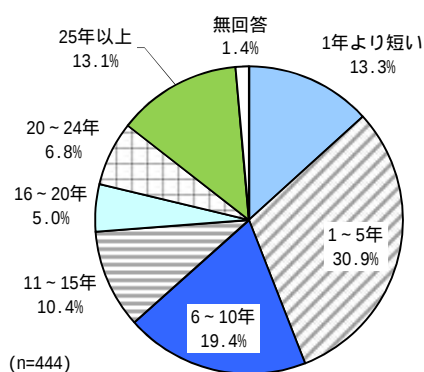
日本に住んでいる年数は、「1～5年」が30.9%と最も多く、次いで、「6～10年」が19.4%、「1年より短い」が13.3%、「25年以上」が13.1%、「11～15年」が10.4%となっている。

前回調査と比較して、「6～10年」が4.6ポイント高い。

年代別にみると、以下の通りになっている。

国籍別にみると、ネパール・インドネシアで「1年より短い」が多く、ベトナムで「1～5年」、韓国・朝鮮及び台湾で「25年以上」が多くなっている。

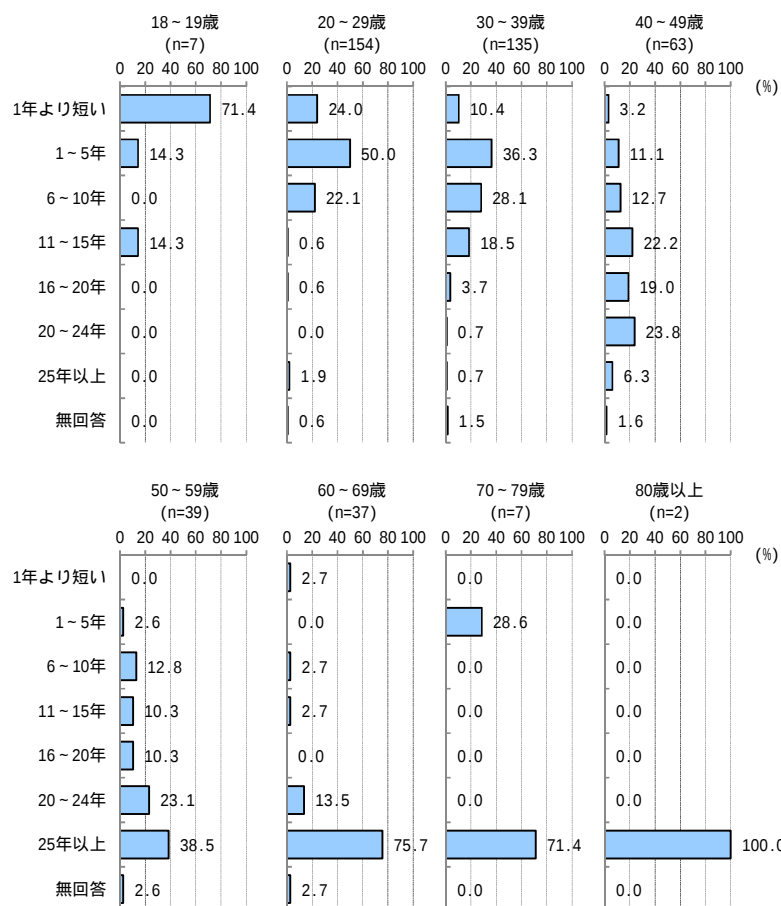
【全体】



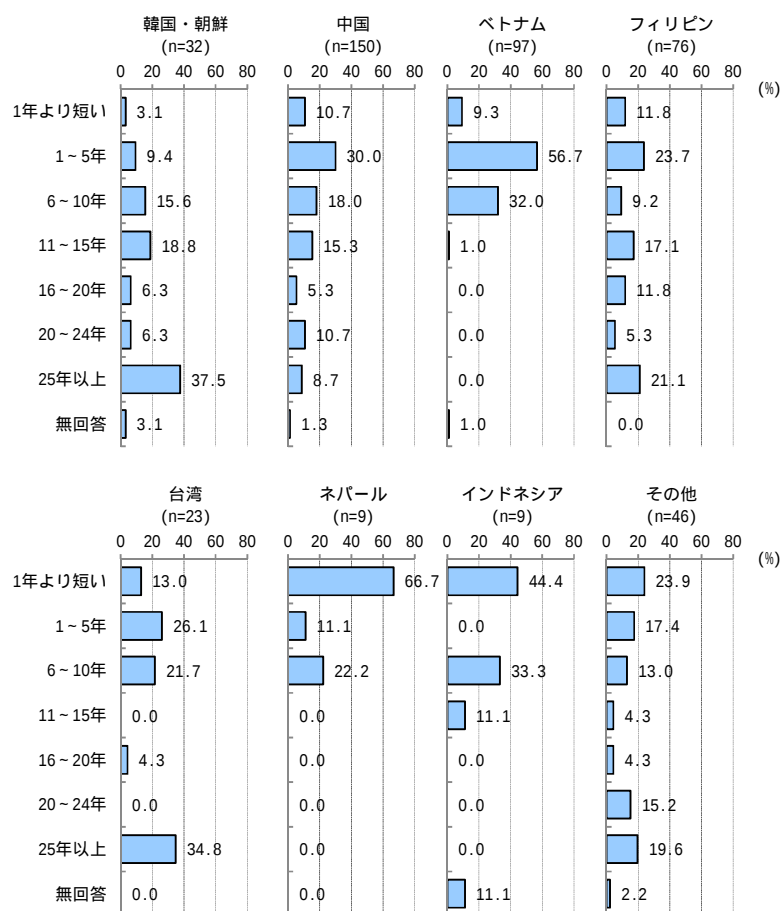
【前回比較】

		1年より短い	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	20～24年	25年以上	無回答
	全体								
今回 (R4)	444	13.3	30.9	19.4	10.4	5.0	6.8	13.1	1.4
前回 (R1)	427	13.1	33.0	14.8	10.1	6.3	4.9	13.8	4.0

【年代別】



【国籍別】



Q 5 あなたの在留資格はどれですか。(単一回答)

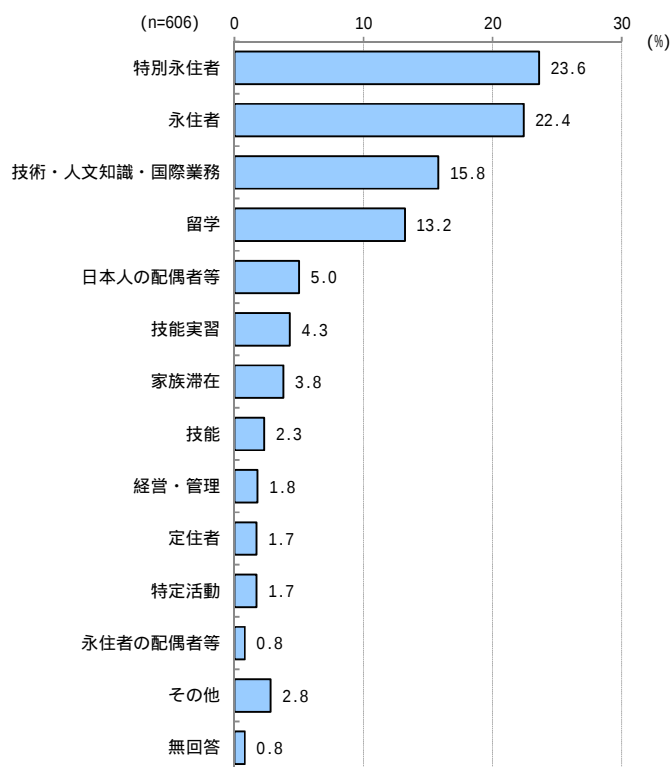
在留資格は、「特別永住者」が23.6%と最も多く、次いで、「永住者」が22.4%、「技術・人文知識・国際業務」が15.8%、「留学」が13.2%となっている。

前回調査と比較して、「特別永住者」が4.5ポイント低く、他の項目については大きな変化はみられない。

国籍別にみると、「韓国・朝鮮」で「特別永住者」が7割以上を占め、「中国」、「フィリピン」では「永住者」、「ベトナム」、「台湾」で「技術・人文知識・国際業務」が最も多い。

また、在留資格別に国籍の割合をみると、「特別永住者」では「韓国・朝鮮」が9割以上を占め、「就労資格」では「ベトナム」が4割以上、「留学」では「中国」が4割以上、「家族滞在」では「中国」が4割程度、「特定活動」では「ベトナム」が6割と最も多い。

【全体】

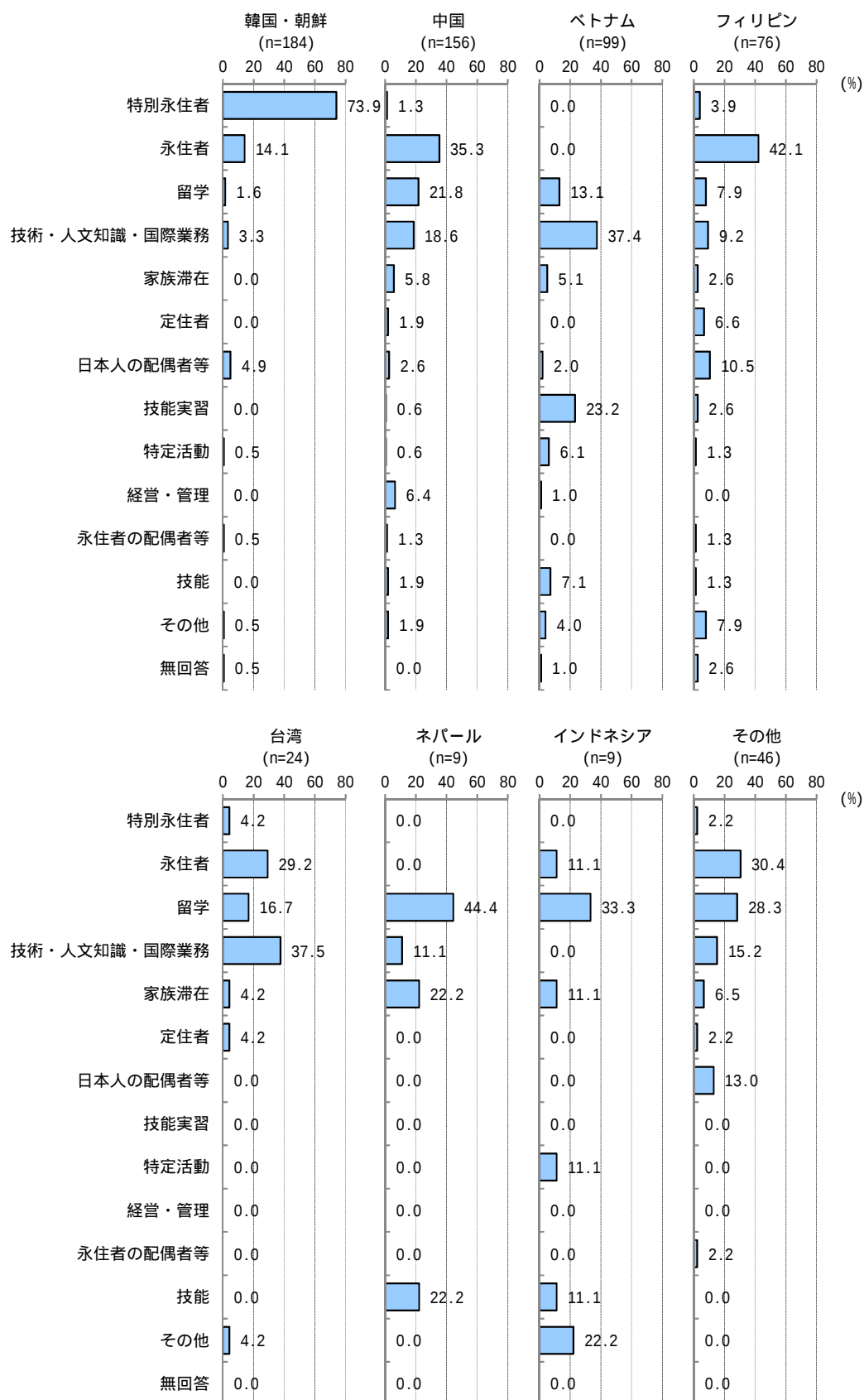


【前回比較】

	全 体	特別 永住者	永住 者	留学	業 技 務 術 ・ 人 文 知 識 ・ 国 際	家 族 滞 在	定 住 者	日 本 人 の 配 偶 者 等	技 能 実 習	特 定 活 動	経 営 ・ 管 理	永 住 者 の 配 偶 者 等	技 能	そ の 他	無 回 答
今回 (R4)	606	23.6	22.4	13.2	15.8	3.8	1.7	5.0	4.3	1.7	1.8	0.8	2.3	2.8	0.8
前回 (R1)	626	28.1	21.6	12.5	13.9	2.9	2.6	5.1	2.4	2.4	1.4	1.8	0.6	2.2	2.6

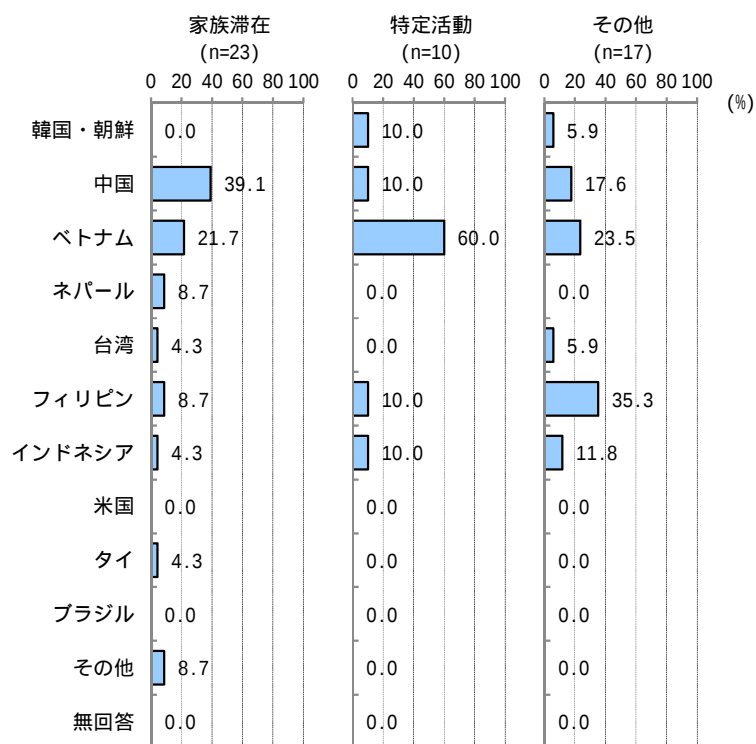
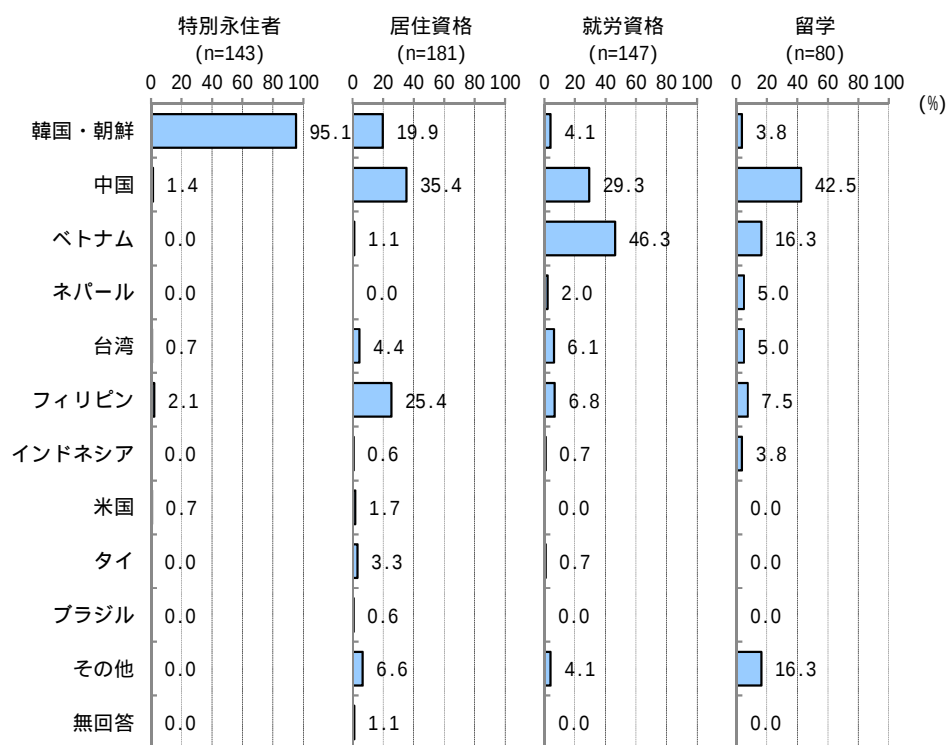
【国籍別】在留資格

回答者を国籍別にみたときの在留資格別の割合



【在留資格別】国籍

回答者を在留資格別でみたときの国籍別の割合

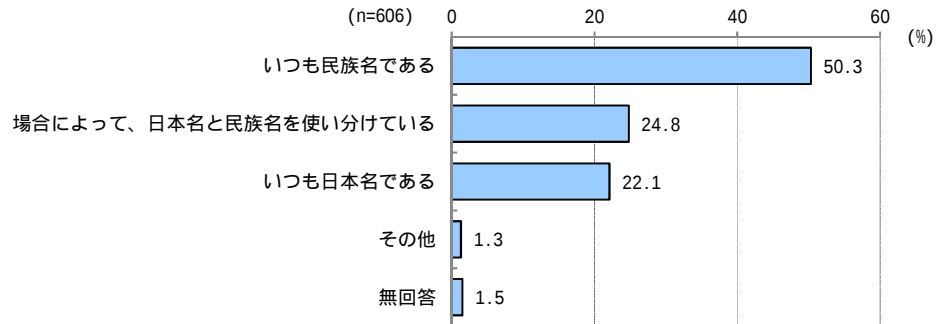


Q 6 あなたは今、どのような名前を使用していますか。(単一回答)

使用している名前は、「いつも民族名である」が50.3%と最も多く、次いで、「場合によって、日本名と民族名を使い分けている」が24.8%、「いつも日本名である」が22.1%となっている。

前回調査と比較して、「いつも民族名である」が4.6ポイント高い。

【全体】



【前回比較】

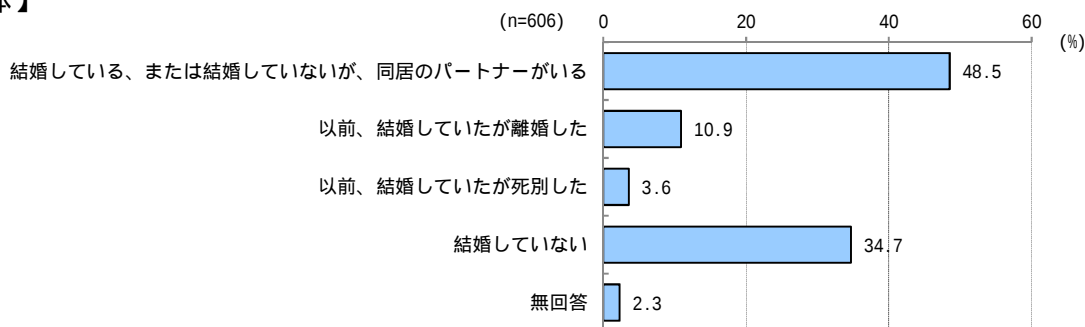
	全 体	い つ も 民 族 名 で あ る	場 合 に よ っ て 、 日 本 名 と 民 族 名 を 使 い 分 け て い る	い つ も 日 本 名 で あ る	そ の 他	無 回 答
今回 (R4)	606	50.3	24.8	22.1	1.3	1.5
前回 (R1)	626	45.7	24.9	24.8	1.1	3.5

Q 7 あなたは今、結婚していますか。(単一回答)

結婚の有無は、「結婚している、または結婚していないが、同居のパートナーがいる」が 48.5% と最も多く、次いで、「結婚していない」が 34.7%、「以前、結婚していたが離婚した」が 10.9%、「以前、結婚していたが死別した」が 3.6% となっている。

前回調査と比較して、大きな差はみられない。

【全体】



【前回比較】

	全 体	結 婚 し て い な い が 、 同 居 の パ ー ト ナ ー が い る	以 前 、 結 婚 し て い た が 離 婚 し た	以 前 、 結 婚 し て い た が 死 別 し た	結 婚 し て い な い	無 回 答
今回 (R4)	606	48.5	10.9	3.6	34.7	2.3
前回 (R1)	626	46.3	8.8	5.1	36.7	3.0

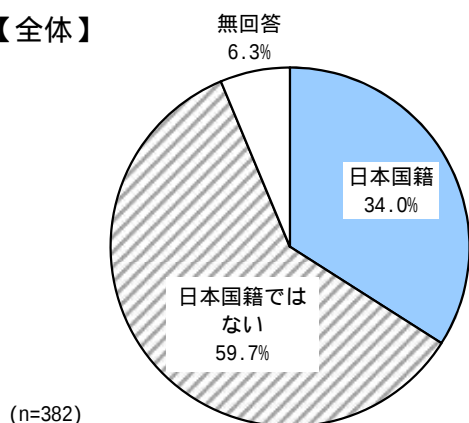
Q 7で「1～3」と答えた方にお聞きします。

Q 7—1 今（離婚・死別の方は最後）の結婚している相手またはパートナーの国籍は何ですか。
(単一回答)

結婚相手・パートナーの国籍は、「日本国籍」が 34.0%、「日本国籍ではない」が 59.7% となっている。

前回調査と比較して、「日本国籍ではない」が 5.3 ポイント高い。

【全体】



【前回調査】

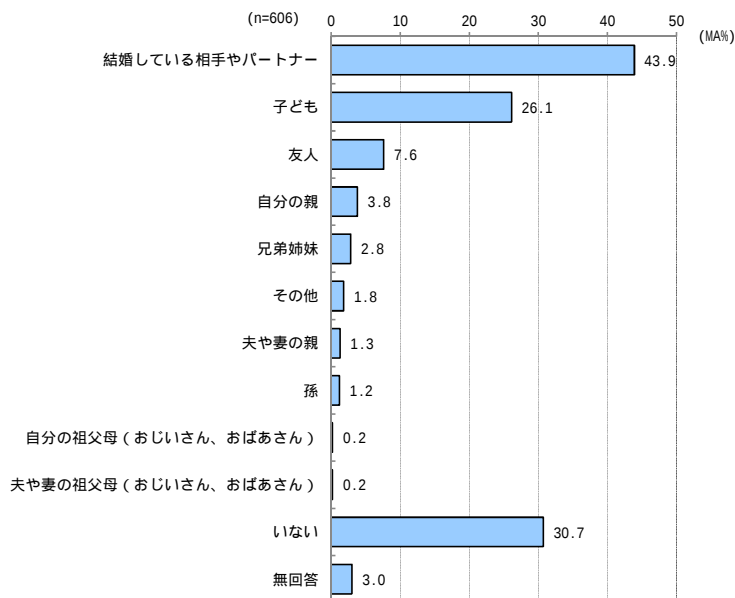
日本国籍：38.5%、日本国籍でない：54.4%

Q 8 今、あなたと一緒に住んでいる人全部に○をつけてください。(複数回答)

一緒に住んでいる人は、「結婚している相手やパートナー」が43.9%と最も多く、次いで、「子ども」が26.1%、「友人」が7.6%、「自分の親」が3.8%、「兄弟姉妹」が2.8%。また、「いない」は30.7%となっている。

前回調査と比較して、大きな差はみられない。

【全体】



【前回比較】

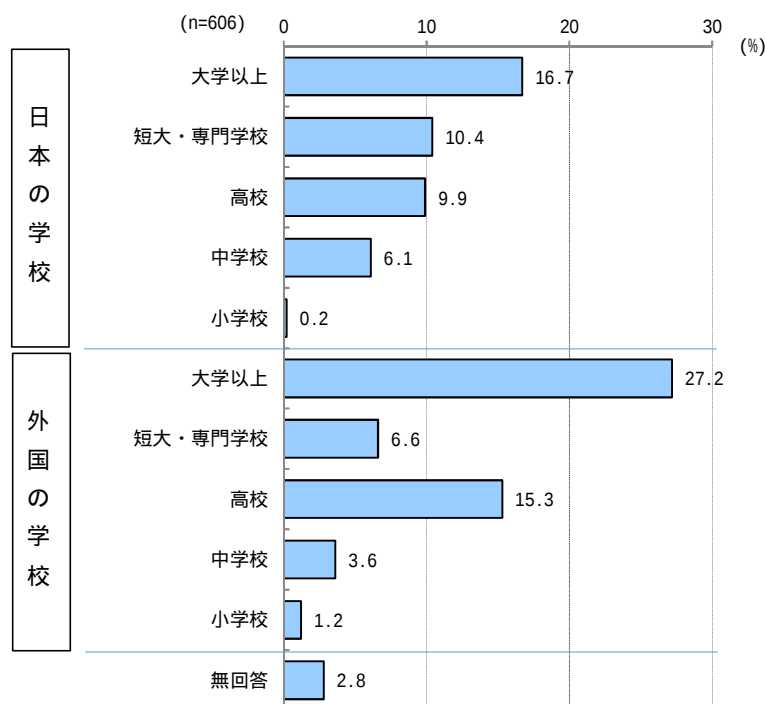
		結婚している相手やパートナー	子ども	兄弟姉妹	自分の親	夫や妻の親	自分の祖父母	夫や妻の祖父母	孫	友人	その他	いない	無回答
	全体												
今回 (R4)	606	43.9	26.1	2.8	3.8	1.3	0.2	0.2	1.2	7.6	1.8	30.7	3.0
前回 (R1)	626	44.9	26.8	5.0	5.8	1.4	0.2	0.3	0.8	6.4	3.4	28.8	3.8

Q 9 あなたが最後に卒業した学校はどれですか。今、学校に通っている人は、通っている学校に○をしてください。(単一回答)

最終学歴は、「外国の大学以上」が27.2%と最も多く、次いで、「日本の大学以上」が16.7%、「外国の高校」が15.3%、「日本の短大・専門学校」が10.4%、「日本の高校」が9.9%となっている。

前回調査と比較して、大きな差はみられない。

【全体】



【前回比較】

	全 体	日本の大学 以上	日本の短大・ 専門学校	日本の高校	日本の中 学校	日本の小 学校	外国の大学 以上	外国の短大・ 専門学校	外国の高校	外国の中 学校	外国の小 学校	無 回 答
今回 (R4)	606	16.7	10.4	9.9	6.1	0.2	27.2	6.6	15.3	3.6	1.2	2.8
前回 (R1)	626	15.2	8.9	10.9	6.9	1.1	25.7	6.2	13.3	3.4	1.3	7.2

調査結果詳細

1. 言語・日本語学習について

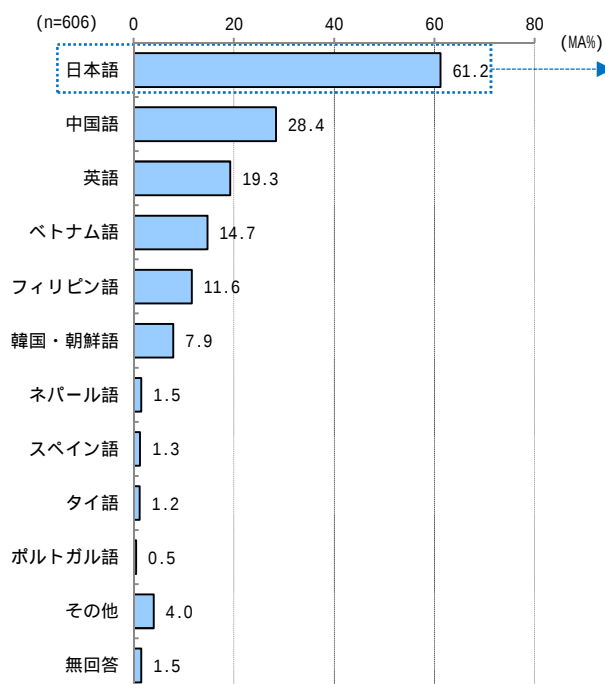
Q10 あなたが不自由なく使うことができる言葉はどれですか。(複数回答)

不自由なく使用できる言語は、「日本語」が61.2%と最も多く、次いで、「中国語」が28.4%、「英語」が19.3%、「ベトナム語」が14.7%、「フィリピン語」が11.6%となっている。

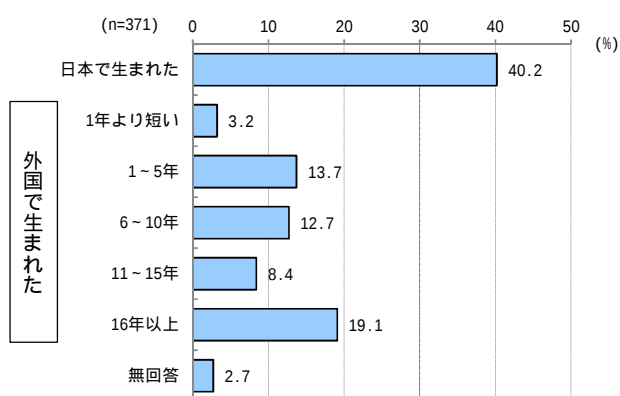
前回調査と比較して、「ベトナム語」が7.4ポイント高く、「英語」で6.6ポイント低い。

「日本語を不自由なく使える」方について、日本在住年数別にみると、「日本で生まれた」で40.2%、「16年以上」で19.1%となっている。

【全体】



【日本語能力 不自由なく使える】 日本在住年数別



【前回比較】

	全	日本	韓国・	中国	ベトナム	フィリピン	英語	ネパール	タイ	ポルトガル	スペイン	その他	(MA%) 無回答
体		語	朝鮮語	語	語	語		語	語	語	語		
今回 (R4)	606	61.2	7.9	28.4	14.7	11.6	19.3	1.5	1.2	0.5	1.3	4.0	1.5
前回 (R1)	626	63.3	12.8	27.3	7.3	12.6	25.9	0.8	1.1	1.1	2.1	4.2	2.6

Q10で「2～11」と答えた方にお聞きします。

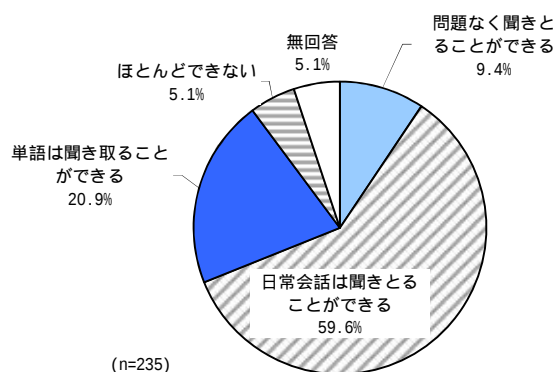
Q10—1 あなたは日本語がどれくらいできますか。【聞く】(単一回答)

「日本語」以外の言語を選択した人のうち、日本語能力(聞く)は、「日常会話は聞きとることができる」が59.6%と最も多く、次いで、「単語は聞き取ることができる」が20.9%、「問題なく聞きとることができる」が9.4%、「ほとんどできない」が5.1%となっている。

前回調査と比較して、大きな差はみられない。

日本在住年数別の結果は以下の通りである。

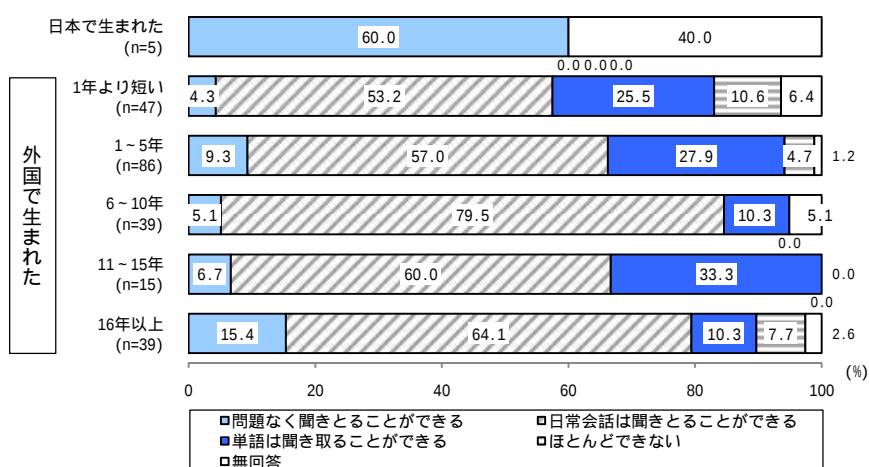
【全体】



【前回比較】

	全 体	問題なく聞きと ることができる	日常会話は聞きと ることができる	単語は聞き取 ることができる	ほとんどでき ない	無 回 答
今回 (R4)	235	9.4	59.6	20.9	5.1	5.1
前回 (R1)	230	7.8	59.6	22.6	4.3	5.7

【日本在住年数別】



Q10で「2～11」と答えた方にお聞きします。

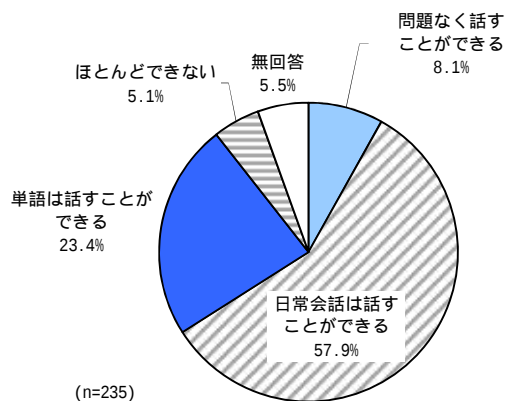
Q10—1 あなたは日本語がどれくらいできますか。【話す】(単一回答)

「日本語」以外の言語を選択した人のうち、日本語能力(話す)は、「日常会話は話すことができる」が57.9%と最も多く、次いで、「単語は話すことができる」が23.4%、「問題なく話すことができる」が8.1%、「ほとんどできない」が5.1%となっている。

前回調査と比較して、大きな差はみられない。

日本在住年数別の結果は以下の通りである。

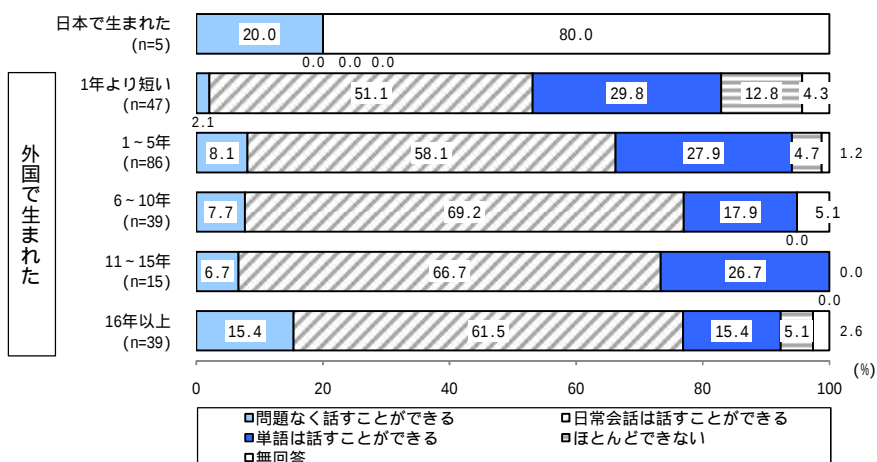
【全体】



【前回比較】

		(%)				
	全 体	問題 なく 話す こと が で き る	日 常 会 話 は 話 す こ と が で き る	単 語 は 話 す こ と が で き る	ほ と ん ど で き な い	無 回 答
今回 (R4)	235	8.1	57.9	23.4	5.1	5.5
前回 (R1)	230	7.0	56.5	25.2	5.7	5.7

【日本在住年数別】



Q10で「2～11」と答えた方にお聞きします。

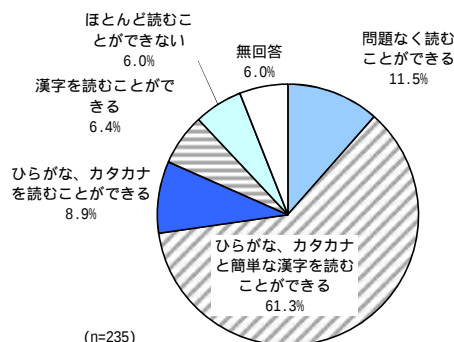
Q10—1 あなたは日本語がどれくらいできますか。【読む・わかる】(単一回答)

「日本語」以外の言語を選択した人のうち、日本語能力(読む・わかる)は、「ひらがな、カタカナと簡単な漢字を読むことができる」が61.3%と最も多く、次いで、「問題なく読むことができる」が11.5%、「ひらがな、カタカナを読むことができる」が8.9%、「漢字を読むことができる」が6.4%、「ほとんど読むことができない」が6.0%となっている。

前回調査と比較して、「ひらがな、カタカナと簡単な漢字を読むことができる」が9.1ポイント高い。

日本在住年数別の結果は以下の通りである。

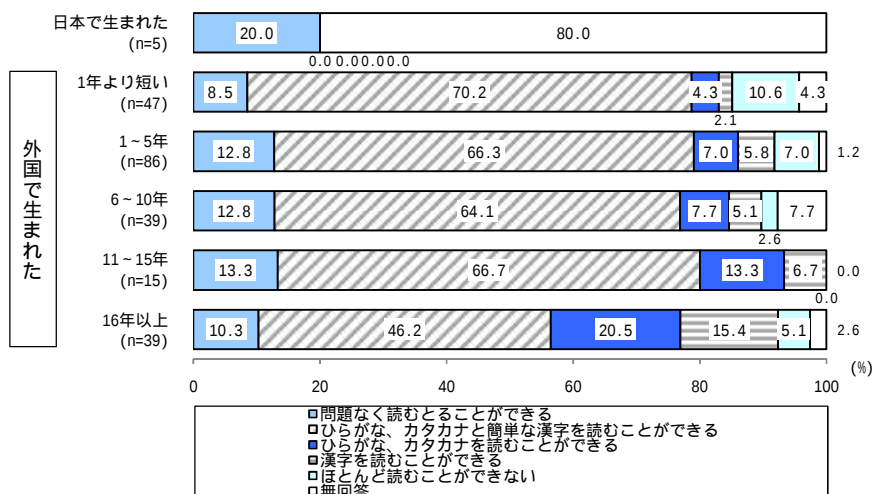
【全体】



【前回比較】

		問題なく読むことができる	ひらがな、カタカナと簡単な漢字を読むことができる	ひらがな、カタカナを読むことができる	漢字を読むことができる	ほとんど読むことができない	無回答
今回 (R4)	235	11.5	61.3	8.9	6.4	6.0	6.0
前回 (R1)	230	10.4	52.2	17.4	3.9	8.7	7.4

【日本在住年数別】



Q10で「2～11」と答えた方にお聞きします。

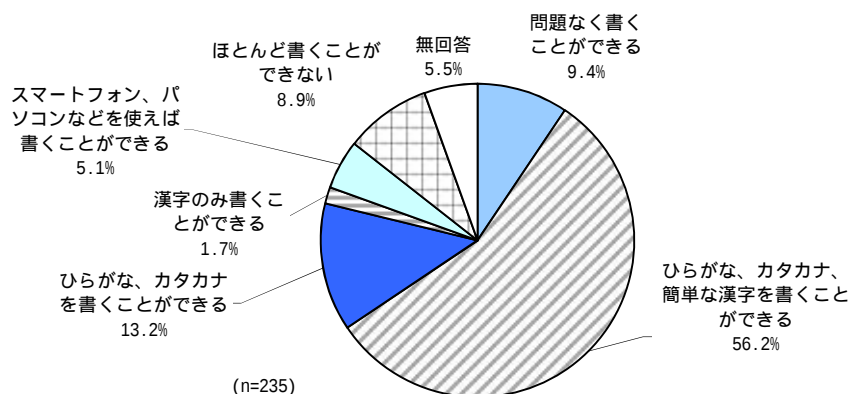
Q10—1 あなたは日本語がどれくらいできますか。【書く】(単一回答)

「日本語」以外の言語を選択した人のうち、日本語能力(書く)は、「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を書くことができる」が56.2%と最も多く、次いで、「ひらがな、カタカナを書くことができる」が13.2%、「問題なく書くことができる」が9.4%、「ほとんど書くことができない」が8.9%、「スマートフォン、パソコンなどを使えば書くことができる」が5.1%となっている。

前回調査と比較して、「ひらがな、カタカナ、簡単な漢字を書くことができる」が6.2ポイント高い。

日本在住年数別の結果は以下の通りである。

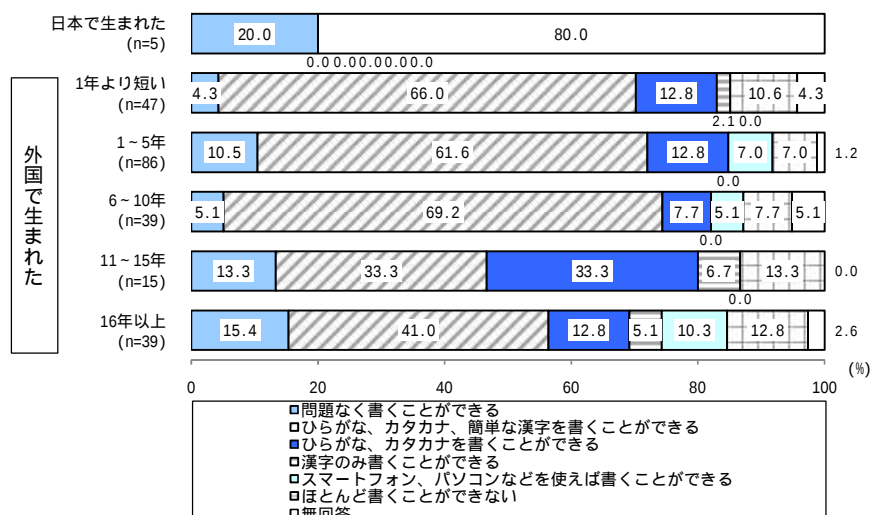
【全体】



【前回比較】

		き問題なく書くことがで	が簡ひらがな漢字を	書ひらがな、カタカナを	き漢字のみ書くことがで	ことスマーフトフオンを使え	きほとん	無回答
	全							
	体							
今回 (R4)	235	9.4	56.2	13.2	1.7	5.1	8.9	5.5
前回 (R1)	230	7.8	50.0	13.0	1.3	8.3	12.6	7.0

【日本在住年数別】



Q11 あなたは今、どこで日本語を勉強していますか。(複数回答)

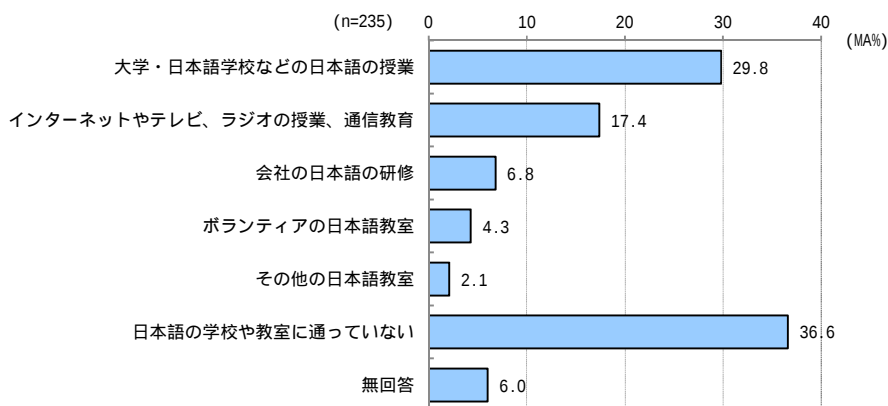
日本語を勉強している場所は、「日本語の学校や教室に通っていない」が36.6%と最も多く、次いで、「大学・日本語学校などの日本語の授業」が29.8%、「インターネットやテレビ、ラジオの授業、通信教育」が17.4%と続く。

前回調査と比較して、「日本語の学校や教室に通っていない」が6.6ポイント高い。

日本在住年数別には、「1年より短い」で「大学・日本語学校などの日本語の授業」が5割以上とくなっている。

在留資格別には、「居住資格」、「就労資格」、「家族滞在」、「特定活動」で「日本語の学校や教室に通っていない」の割合が比較的高い。

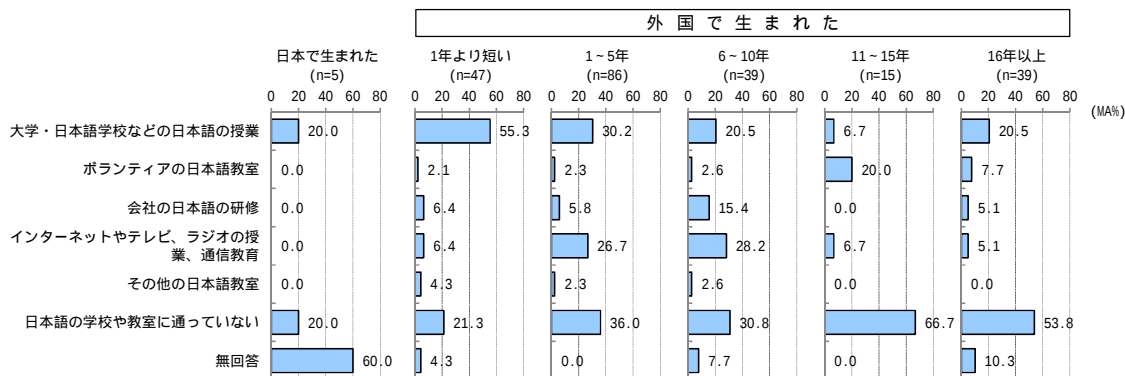
【全体】



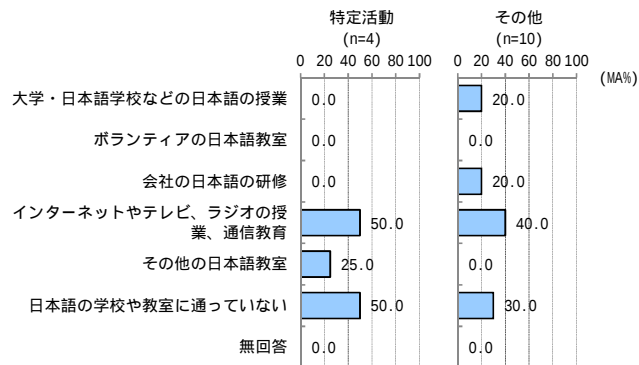
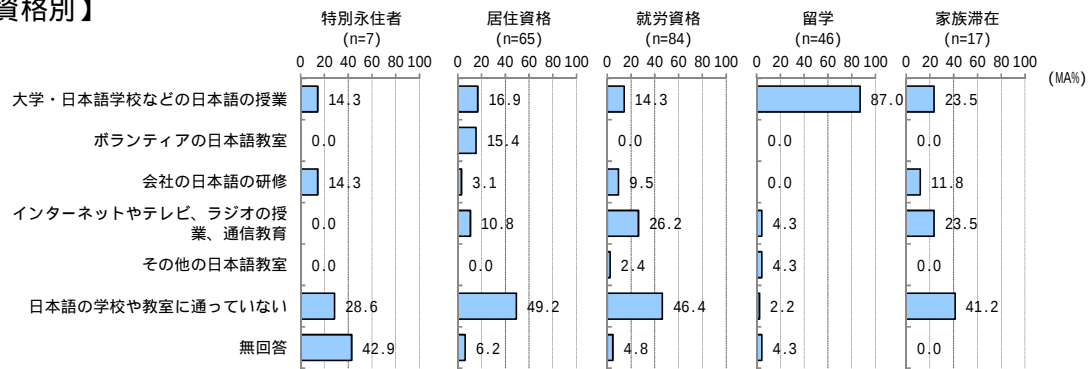
【前回比較】

(MA%)								
	全 体	大学・日本語学校などの日本語の授業	ボランティアの日本語教室	会社の日本語の研修	ビ・インターネッツやテレビ、ラジオの授業、通信教育	その他の日本語教室	日本語の学校や教室に通っていない	無回答
今回（R4）	235	29.8	4.3	6.8	17.4	2.1	36.6	6.0
前回（R1）	230	31.7	7.0	8.3	17.8	4.8	30.0	13.5

【日本在住年数別】



【在留資格別】

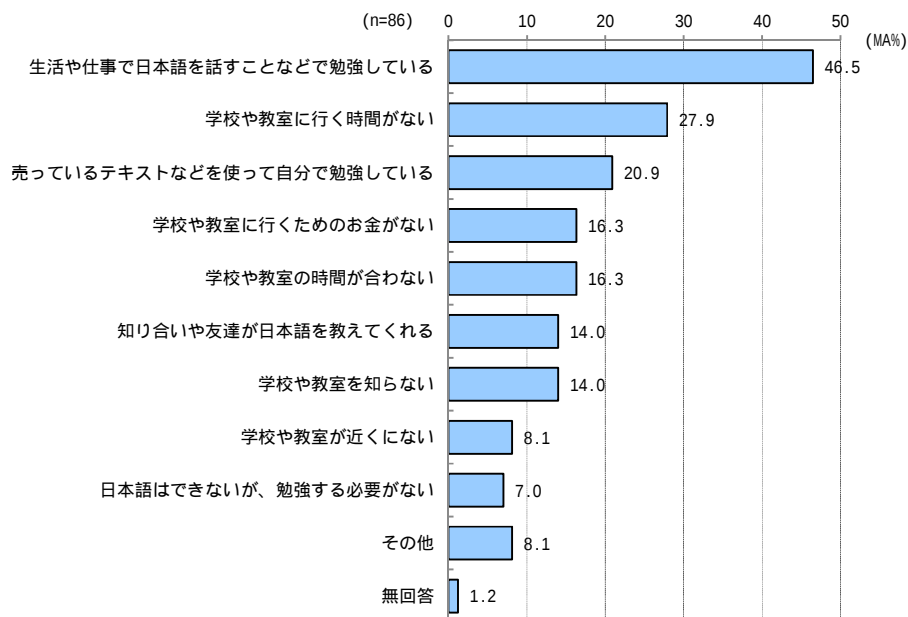


Q11で「6 日本語の学校や教室に通っていない」と答えた方にお聞きします。
Q12 あなたが日本語の学校や教室に通っていない理由は何ですか。(複数回答)

学校・教室に通っていない理由は、「生活や仕事で日本語を話すことなどで勉強している」が46.5%と最も多く、次いで、「学校や教室に行く時間がない」が27.9%、「売っているテキストなどを使って自分で勉強している」が20.9%、「学校や教室に行くためのお金がない」、「学校や教室に行く時間がない」が16.3%となっている。

前回調査と比較して、「知り合いや友達が日本語を教えてくれる」が17.9ポイント低い。

【全体】



【前回比較】

		(MA%)										
	全 体	勉 日 強 本 語 は で き な い が 、 必 要 が な い	て 話 す こ と な ど で 日 本 語 を 勉 強 し て い る	語 知 を 教 え い て く れ 達 が 日 本 語 を 勉 強 し て い る	し ど を 使 っ て い る 自 分 で ス テ ディ を し て い る	学 校 や 教 室 を 知 ら な い	が 学 校 や 教 室 に 行 く 時 間 が な い	の 学 校 や 教 室 に 行 く た め の お 金 が な い	い 学 校 や 教 室 が 近 く に な い	わ 学 校 や 教 室 の 時 間 が 合 わ な い	そ の 他	無 回 答
今回 (R4)	86	7.0	46.5	14.0	20.9	14.0	27.9	16.3	8.1	16.3	8.1	1.2
前回 (R1)	69	7.2	50.7	31.9	20.3	10.1	20.3	15.9	7.2	21.7	4.3	4.3

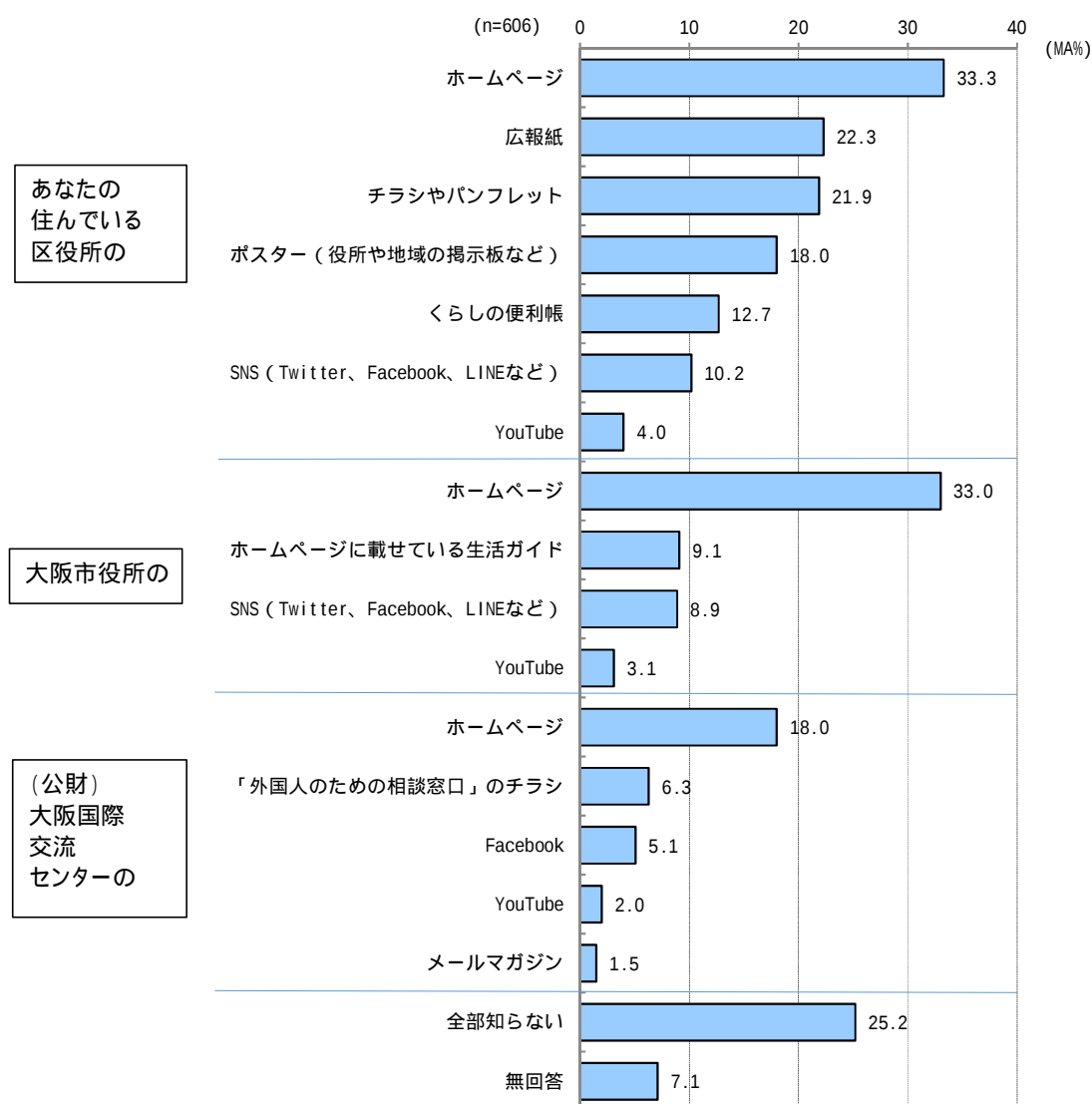
2. 普段の生活について

Q13 あなたは役所（区役所や大阪市役所など）が出している次の案内やお知らせを知っていますか。（複数回答）

知っている情報媒体は、「区役所のホームページ」が33.3%と最も多く、次いで、「大阪市役所のホームページ」が33.0%、「全部知らない」が25.2%、「区役所の広報紙」が22.3%、「区役所のチラシやパンフレット」が21.9%となっている。

日本語能力別では、どの能力についても、「日常会話未満」、「上記未満」の項目で「全部知らない」が多くなっている。

【全体】



【前回比較】

	全 体	区 役 所 の ホ ー ム ペ ー ジ	区 役 所 の S N S	区 役 所 の Y o u T u b e	区 役 所 の 広 報 紙	帳 区 役 所 の く ら し の 便 利	区 役 所 の ポ ス タ ー	区 役 所 の チ ラ シ や パン フ レ ッ ト	大 阪 市 役 所 の ホ ー ム ペ ー ジ
今回（R4）	606	33.3	10.2	4.0	22.3	12.7	18.0	21.9	33.0
前回（R1）	626	17.7	4.8	-	48.6	-	-	-	7.0

(MA%)

大 阪 市 役 所 の ホ ー ム ペ ー ジ に 載 せ て い る 生 活 ガ イ ド	大 阪 市 役 所 の S N S	大 阪 市 役 所 の Y o u T u b e	セ ン タ ー の 大 阪 国 際 交 流 （公財）	セ ン タ ー の 大 阪 国 際 交 流 （公財） F a c e b o o k	セ ン タ ー の 大 阪 国 際 交 流 （公財） Y o u T u b e	セ ン タ ー の 大 阪 国 際 交 流 （公財） ジ ン	セ ン タ ー の 大 阪 国 際 交 流 （公財） ラ シ	大 阪 市 役 所 の ホ ー ム ペ ー ジ に 載 せ て い る 生 活 ガ イ ド	無 回 答
9.1	8.9	3.1	18.0	5.1	2.0	1.5	6.3	25.2	7.1
20.9	12.5	-	9.4	5.3	-	-	10.9	29.1	6.5

【日本語能力別】

